

人生劇場 飛車角と吉良常（1968）

メディア 映画

ジャンル ドラマ 任侠・ヤクザ

製作国 日本

色彩 Color

時間 109分

初公開日 1968/10/25

【解説】

尾崎士郎の『人生劇場 残侠篇』をもとに、棚田吾郎が脚色し内田吐夢が監督。内田が『人生劇場』を映画化するのは、1936年の「人生劇場 青春編」に次いで二回目、実に32年ぶりのことだった。

上海から日本に戻った吉良常は、今は亡き主人の息子である瓢吉を訪ねる。おとよと駆け落ちした飛車角は、殴り込みで丈徳を斬り勝利した。しかし裏切った兄弟分を刺殺、たまたま出会った吉良常にすすめられ警察に自首する。四年後、刑期を終えた飛車角を吉良常が出迎えた。吉良常の故郷である吉良へ行った飛車角は、そこで偶然、行方をくらましていたおとよと再会。吉良常は老齢のため病床に伏し、そのまま息を引き取った。丈徳の仇を討つべく、地元のヤクザが吉良に乗り込んでくる。

【クレジット】

監督 内田吐夢

製作 大川博

企画 俊藤浩滋

大久保忠幸

吉田達

原作 尾崎士郎

脚本 棚田吾郎

撮影 仲沢半次郎

美術 藤田博

編集 長沢嘉樹

音楽 佐藤勝

助監督 三堀篤

出演 鶴田浩二

若山富三郎

藤純子

中村竹弥

大木実

信欣三

天津敏

山本麟一

村井国夫

山城新伍

遠藤辰雄

名和宏

亀石征一郎

八名信夫
北川恵一
伊達弘
佐藤晟也
関山耕司
岡野耕作
小林稔侍
松方弘樹
左幸子
辰巳柳太郎
高倉健